

心身共にたくましく、自ら学ぶ、心豊かな子どもの育成



茅小だより 10月号

令和3年9月30日（木）

茅ヶ崎市立茅ヶ崎小学校
校長 吉野 利彦

お子様の素敵な成長を ご家族で共有してください

虫の音にも深まる秋を感じる頃となりましたが、保護者や地域の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。

さて、昨年度に引き続き、新型コロナウイルスの感染が収まらない状況で新年度がスタートしましたが、早いもので、前期も残すところあと1週間余りとなりました。この半年間の教育活動を振り返ってみますと、緊急事態宣言やまん延防止等の重点措置の対策が取られる中で、修学旅行を中止としたり、キャンプを日帰り日程に変更して実施時期を延長したりするなど、苦渋の選択を余儀なくされました。日々の学習においても、一斉の音読や合唱ができなくなるなど、様々な活動に一定の制限をかけざるを得ない状況が続きました。

こうした状況下で学校生活を送っている子どもたちには、個人差はあるものの様々なストレスが確実に蓄積されてきていると考え、学校では、教職員間の情報共有を丁寧に行い、子どもたちの微妙な変化を見逃さないよう努めております。従来どおりの教育活動が行えない状況が長期間に渡って続いていますが、子どもたちは、本当によく頑張っています。一生懸命学習に取り組んでいる姿や休み時間に友達と楽しそうにふれ合っている姿を見ると、私たち教職員も、元気と勇気とやる気が湧いてきます。

このように子どもたちが明るく前向きに学校生活を送ることができている背景には、保護者や地域の皆様方が、子どもたちの何気ない話にもきちんと耳を傾け、温かく支え続けてくださっているおかげだと考えております。この場をお借りして、改めて心より感謝申し上げます。

10月8日の前期最終日には、お子様を通じて「あゆみ」を配付いたします。その中で、各担任が、学習面や生活面でのお子様の半年間の頑張りや成長を、一文字一文字に思いを込めて綴っています。「漢字練習を丁寧に行い、形の整った字を書けるようになりました。」「苦手だった跳び箱の練習を頑張り続け、ついに跳ぶことができました。」「困っているお友達を見かけるといつも優しく声を掛けています。」「黒板係として、黒板をいつもピカピカにしてくれました。」素敵なメッセージがたくさん綴られています。ご家庭でも、お子様と一緒にこの半年間の頑張りや成長を共有してくださるようお願いいたします。